

遊びの中での学び表

3 版

令和 2 年度

千葉大学教育学部附属特別支援学校 小学部

「遊びの中での学び表」について

概要

- ・本表は、平成 29 年度～30 年度における小学部の研究「遊びの指導における児童の目標・評価に視点を当てた授業づくり-遊びの指導で育むことができる教科等の内容の検討-」において、事例児 7 名分の、遊びの指導の授業(※)での目標を、発達のまとまりごとに並べ替え、「遊びの中での学び」としてまとめたものです。
- (※) 本校では自由遊びを主とし、体育館又はグラウンドにいくつかの遊具を設置して学部全員で行っています。活動形態により授業の中での学びの内容、質は異なるものと思われるため、ここに記しておきます。
- ・本表にある学びは、できるだけ遊びの文脈（子どもの意図や、状況による遊びの移り変わり）に沿ってまとめることを心掛けました。
- ・各教科等の視点からも学びを説明できるように、表中の各項目に関連する各教科等の内容を記載しました。

「学び」に関する捉え

- ・自由遊びを主とする授業では、教師が子どもの目標達成を直接的に支援するというより、子どもの主体的な遊びの中で生まれる学びをいかにして見取るかが重要だと考えます。本表は教師が子どもの学びを見取る際の視点となると考えます。
- ・「学び」と「目標」という用語について、子どもの側から見るか、教師の側から見るかという違いがありますが、同じものを表す言葉として用いています。
- ・本表はあくまで、H29～30 年度本校小学部の 7 名の児童の目標をまとめたものであり、本表に記載されない学びが数多くあると考えます。そのため、継続的に本表の内容を修正していくことが必要だと考えます。

※令和元年度、2 年度に、子どもの様子に沿うよう内容を追加した

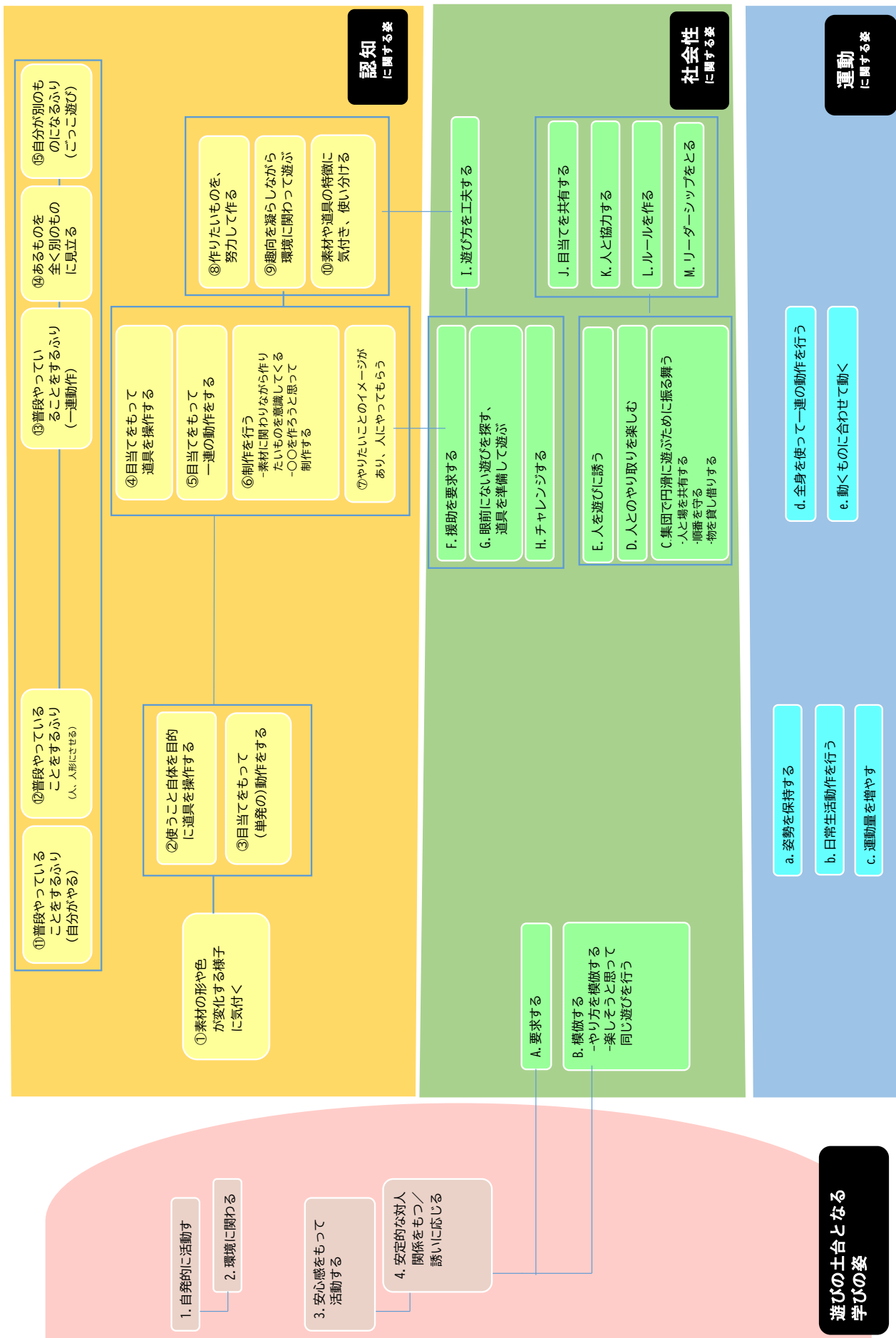
活用方法など

- ・本表の活用方法としては、①児童の目標設定の指針、②授業計画の指針、③評価の観点などを想定しています。
- ・本表があることで様々な利点が生まれると考えますが、大きくは次の二点です。
 - ▶「遊び」と「指導」の両立
設定した目標以外にも、広く学びの視点をもつことで、教師が目標にとらわれ過ぎず、子どもの主体的な遊びを尊重しやすくなる。もし、目標と授業での子どもの様子にズレが生じて、目標を修正しやすくなる。
 - ▶教師間の協議を有意義に
教師間で遊びに関して共通した言葉をもつことで授業についての協議が行いやすくなる。

目次

図	遊びの中の学び	3
I	遊びの土台となる学びの姿	4
	自発的に活動する、安心感をもって活動する、等	
II	認知に関する姿	5
	① 形や色が変わる様子に気付く	
	② 使うこと自体を目的に道具を操作する	
	③ 目当てをもって単発の動作をする	
	④ 目当てをもって道具を操作する	
	⑤ 目当てをもって一連の動作を行う	
	⑥ 制作を行う	
	⑦ やりたいことのイメージがあって、人にやってもらう	
	⑧ 作りたいものを努力して作る	
	⑨ 趣向を凝らして環境に関わって遊ぶ	
	⑩ 素材や道具の特徴に気付き、使いわける	
	⑪ - ⑮ 見立て遊びを行う	
III	社会性に関する姿	12
	A 要求を伝える	
	B 模倣する	
	C 集団で円滑に遊ぶための振る舞いをする	
	D 人とのやり取りを楽しむ	
	E 援助を要求する	
	F 眼前にない遊びをする	
	G チャレンジする	
	H 遊び方を工夫する	
	I 目当てを共有する	
	J 人と協力する	
	K ルールを作る	
IV	運動に関する姿	16
	a 姿勢を保持する	
	b 日常生活を行う	
	c 運動量を増やす	
	d 全身を使って一連の動作を行う	
	e 動くものに合わせて動く	
番外編	「遊びを卒業した児童」にとっての生活課題 活動内容によって扱える各教科等の内容	19

図 遊びの中の学び



I 遊びの土台となる学びの姿

- ・ 認知、社会性、運動の発達のみとまりごとに遊びの中での学びを整理していく過程で、どこに振り分けるのが適切かわからない学びや、すべての活動に関わる学びが、いくつかありました。
- ・ これらは、遊びを行う上で大切にしたい姿であり、3つの領域のすべての土台となる学びだと考えました。
- ・ それらを「認知・社会性・運動にわけられない学びの姿」としてここに記載しました。

1. 自発的に活動する

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
—	好きな遊びを見つける	シーソー、すべり台	シーソー、すべり台を気に入り、長い時間繰り返し遊んでいることが多い。	生活 エ 遊び

2. 環境に関わる

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
遊びの幅を広げる	好きな遊びを見つけ、遊びの幅を広げることができる	砂場、色水コーナー	砂場や色水コーナーで、様々な素材に、自分から積極的に触れた。	環境の把握 (1) 保有する感覚の活用に関すること
環境にあるものを活用する	教師や他児の遊びに一歩踏み出す	工作広場 小麦粉粘土	興味をもって見ているところを教師に誘われ、素材を手取る。	環境の把握 (1) 保有する感覚の活用に関すること

3. 安心感をもって活動する

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
—	好きな遊びを見つける	ボールプール他	ボールプールを気に入り、そこが居場所になっている。	心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること

4. 安定的な対人関係をもつ（支援を受け入れる、誘いに応じる）

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
—	働きかけに応じる相手の幅を広げることができる	場全体	キッチンで一人で遊んでいたが、教師の働きかけに応じ、パペットに食べ物を食べさせる。	生活 オ 人との関わり 人間関係の形成 (1) 他者との関わりの基礎に関すること (2) 他者の意図や感情の理解に関すること (3) 自己の理解と行動の調整に関すること コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること (2) 言語の受容と表出に関すること (3) 言語の形成と活用に関すること

II 認知に関する姿

認知に関する姿全般に 生活科 ※自分自身、及び自分と環境との関わりへの気付き
関わる教科

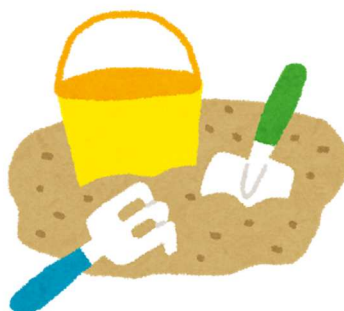
- ・認知に関する姿では「①形や色に変化する様子に気付く」から「⑮見立て遊びを行う」までを記しています。
- ・ここで記載される「目当て」という言葉は、始めから「砂場に池を作ろう」と思って穴を掘り始めるというような明確なものから、何となく穴を掘っているうちにふと思いついて水を入れ始めるというふうに活動中に思いつくようなものまで幅広く捉えています。
- ・また、「砂場の山を崩そう」と思って目の前の砂場に手を伸ばすような、上記のものに比べて複雑でない行動の意図や動機も「目当て」という言葉に含めています。

① 素材の形や色に変化する様子に気付く

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
素材や道具の特徴に気付く	日常生活動作(頭巾や帽子を被る)	ステージ	教師に手伝ってもらって、ヒヨコの帽子を被る。	図工 A 鑑賞
	日常生活での衣服の着脱などにつながる動き	ステージ	『ひよこダンス』を踊るときに被っていたひよこの帽子を見付け、自分で被ろうとした。上手く被れず教師に手伝ってもらって被った。	算数 B 図形 算数 C 測定
〃 に気付いて使い分ける	素材や道具の特徴を生かして遊び方を工夫する	砂場、シャボン玉	砂場で、大きな穴を掘ろうとして、シャベルの代わりにスコップを持ってきた。	環境の把握 (1)保有する感覚の活用に関すること

② 使うこと自体を目的に道具を操作する

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
—	道具の使い方が分かって操作する(感触、形、色など)	砂場	砂場に座り、近くのシャベルを手に持って、地面をざくざく刺す。何かを作ろうとしているわけではなさそう。	生活 シ 物の仕組みと働き 図工 A 表現



③ 目当て(※)をもって単発の動作をする

- (※) 感触を得る
- (※) 形や色の変化を見る
- (※) 物を転がす、崩す
- (※) 人とやり取りする など

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
やり取りを目当てに動作する	人とやり取りしようとして、物に直接はたらきかける	おはなしパイプ	反対側にいる教師の顔をのぞき込んで、名前を呼ばれるのを期待して待っている。 パイプをのぞいて「私を呼んで」とアピールする。	生活 オ 人との関わり 人間関係の形成 (1)他者との関わり基礎に 関すること コミュニケーション (1)コミュニケーションの基礎 的能力に 関すること
感触を得ることを目安に動作する	感触を得ようとして、物に直接はたらきかける	キッチン	「なす」のマジックテープをはがしたり、くっつけたりする。	生活 シ ものの仕組みと働き 図工 共通事項 鑑賞 表現
		砂場	教師が作った砂山を手で壊す様子を見て、その遊びに興味をもつ。再び教師が山を作ると自分が手を伸ばして、山を壊す。	
			水たまりを見付け、手足を入れたり泥を混ぜたりして感触を楽しむ。	

④ 目当て(※)をもって道具を操作する

- (※) 感触を得る
- (※) 形や色の変化を見る
- (※) 物を転がす、崩す
- (※) 人とやり取りする など

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容
道具の機能に直結した目当てをもって道具を操作する	目当てに向かって、必要な道具を操作する	砂場	じょうろに水を汲んで、砂場に水を撒く。砂の色が変わるのを見て満足した様子。 砂場を見て、シャベル使おうと思いつき、道具箱からシャベルを持ってきて穴を掘り始める。 といの上に乗っている砂を見て、じょうろを使って水を流し始める。砂の流れる様子を見ていた。	生活 シ ものの仕組みと働き 図工 共通事項 鑑賞 表現
色の変化を "	目当てをもって道具を操作する	キラキラハウス	光源の台を回しながら色紙を当てて、光の色の変化を楽しむ。手に映していた。 ペットボトルに光を当てる。	身体の動き (3)日常生活に必要な基本的 動作に 関すること
衣服等の着脱を "	目当てをもって道具を操作する	ステージ	教師に手伝ってもらってヒヨコの帽子を被る。	

⑤ 目当てをもって一連の動作を行う

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容
作ったものを使って遊ぶ	制作した物で遊びを行う	制作コーナー	顔を描いたお面を使って追いかっこをする。	生活 シ ものの仕組みと働き
	目当てをもって制作(構成)を行う／制作した物で見立て遊びを行う	制作コーナー	描かれた絵を何かに見立ててせりふを言う。	図工 共通事項 鑑賞 表現
		教室	描かれた絵を何かに見立ててせりふを言う。	
目当て(積んだブロックを崩す)をもって制作する	ブロック	自分で積み上げたブロックを壊す。	身体の動き (3)日常生活に必要な基本的動作に関すること	

⑥ 制作(※)を行う

(※) 構成(ブロックなど)、描画、造形(粘土など)

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容
部分的に制作に参加する	描画を行う(部分的参加)	制作コーナー	描かれている絵に、自分で絵を描き足す。完成したキャラクターに、足や手を描き足す。	生活 シ ものの仕組みと働き 図工 共通事項 鑑賞 表現
			絵かき歌を見ながら、教師が描く『うーたん』の頬に赤いペンで○を描き加えた。その後、他のイラストの頬にも赤ペンで描く。自分の頬にも赤い○を描いて、鏡で確認した。	
—	制作(描画)を行う	アトリエ	手をなぞって、手形を描いた。たくさん描いて、ホワイトボードを埋め尽くそうとしていた。	身体の動き (3)日常生活に必要な基本的動作に関すること
素材に関わりながら作りたいものを意識してくる		砂場	初めは砂場の砂に水をまぜかき回しながら、素材が変化する様子や感触などを楽しんでいる様子。水と砂が混ざってどろどろした様からの「シチュー」を作ることを思い付き、作ったシチューを教師に渡す遊びを行う。	生活 シ ものの仕組みと働き 図工 共通事項 鑑賞 表現 身体の動き (3)日常生活に必要な基本的動作に関すること
「○○を作ろう」と思って制作する	構成を行う	福笑い	顔のパーツを操作し、表情を作る。	生活 シ ものの仕組みと働き 図工 共通事項 鑑賞 表現
		制作コーナー	お面に顔を描く。何かをイメージして描いたかどうかはわからない。	
	造形を行う	教室	ホワイトボードに好きなキャラクターの絵を描く。	身体の動き (3)日常生活に必要な基本的動作に関すること
		砂場	泥団子を作ってお皿に並べ、木の人形の口に入れたり、教師に渡したりする。 砂を入れたプリン容器をひっくり返してケーキを作った。	
制作コーナー	粘土で好きなキャラクターを作ろうとする。			

⑦ やりたいことのイメージがあり、人にやってもらう

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
—	描画を行う(支援を受けて)	制作コーナー	ホワイトボードの前で自分の目や鼻などを指さして、教師に自分の顔を描いてもらう。	生活 シ ものの仕組みと働き
	構成を行う(支援を受けて)	福笑い	教師に「目はどこ?」と聞かれて、目のパーツをおおよそ正しい位置に置く。その後、教師に確認するように自分の目を指さす。	図工 共通事項 鑑賞 表現 身体の動き (3)日常生活に必要な基本的動作に関すること

⑧ 作りたいものを努力して作る

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
—	—	箱積み 体育館の一角	箱積みに使う箱を別の場所に運んで集め、時間をかけて体育館の一角に大きな「家」を作る。	生活 シ ものの仕組みと働き 図工 共通事項 鑑賞 表現 身体の動き (3)日常生活に必要な基本的動作に関すること

⑨ 趣向を凝らしながら環境に関わって遊ぶ

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
—	趣向を凝らして遊ぶ	箱積み 体育館の一角	箱積みに使う箱を別の場所に運んで集め、時間をかけて体育館の一角に大きな「家」を作る。	生活 シ ものの仕組みと働き 図工 共通事項 鑑賞 表現 身体の動き (3)日常生活に必要な基本的動作に関すること

⑩ 素材や道具の特徴に気付き、使い分ける

下位項目	授業での目標(例)	場所(例)	授業での活動(例)	各教科等の内容・内容
—	素材の特徴に応じて、素材に手を加えたり、別の素材を探したりしながら遊ぶ	パラシュート	パラシュートでボールを遠くに飛ばそうとする中で、やわらかいボールより空気の入った固いボールの方が飛ぶことに気付き、それを集める。途中、新聞紙を丸めたもの等、別の素材も試す。	生活 シ ものの仕組みと働き 図工 共通事項 鑑賞 表現 身体の動き (3)日常生活に必要な基本的動作に関すること